

議案名：２月例会開催及びＬＤタイム　子どもの可能性を伸ばす究極の講演～大人が変われば、
子どもも変わる～事業報告並びに決算（案）承認の件

更新日：３月１４日

次年度への引継事項

【運営面での引継ぎ事項】	
事項１	＜タイムスケジュールの組み方について＞ とてもタイトなスケジュールにできてしまったため、特に例会で無理が出てしまった。（お祝いやスマイルボックスの読み上げ、監事講評など）
対応１	・講演を１５時まで、その後例会とし時間に余裕を持たせました。
事項２	＜子どもの対応について＞ 子どもを連れてきたことで、保護者が集中して聞けていなかったため、子どもの対応を考えておくべきだった。
対応２	会場を２か所使用し、親は講演、子供は体験と別の環境を用意しました。
事項３	＜駐車場の対応について＞ 近隣駐車場地図を警備員に渡し対応をお願いしていたが、警備員だけでは対応しきれていなかった。
対応３	駐車場がない旨を記載し公共機関での来場を促します。
事項４	＜協賛参加者の座席誘導について＞ 協賛参加者は会場の地図を持っていたが、自分たちの座席がわかりづらく誘導が難しかった。
対応４	座席に番号を振り誘導しやすくします。
事項５	＜座席の配置について＞ 参加者の見やすさを考慮し前方２列をつぶしたが、写真を見たときに空席があるように見えてしまった。
対応５	空席がないように調整し、空席が目立つようであれば、席を撤去して、見た目に配慮します。
事項６	＜受付について＞ 協賛受付を一般受付の手間に置いてしまったために、一般参加者が協賛受付に来てしまうことが何度か起こってしまった。
対応６	今回は、協賛受付がないため、一般参加者のみの受付になります。
事項７	＜参加者の退場について＞ アンケートの記入時間になったタイミングでほぼ全員が立ち上がって帰ってしまった。
対応７	講演が終わったタイミングで、アンケート用紙を配布し、提出していただいた人から帰っていただくように促します。
事項８	＜例会時の総務委員会との連携について＞ 例会時には総務委員会が担当する部分があるが、連携が完璧にはとれておらずバタバタしてしまった。
対応８	シナリオを事前に配布し流れを共有します。
事項９	＜参加者の数え方について＞

	用意した資料から残った資料を差し引いた数を大人の人数とし、資料を渡していないであろう子どもを退場時にカウンターで数えることで、その合計人数を一般参加者人数としたが、正確な人数を数えることができなかった。
対応 9	入口コロナ対策をする際に合わせて、入場者に記名をお願いして集計します。
事項 10	＜アンケートの回収率について＞ 大人 886 名中 428 件（約 48%）しかアンケートを回収できておらず、半分程度しか回収できなかった。（対内のアンケート回収率は 62 人中 61 人で約 98%）
対応 10	途中で帰る方からもアンケートを回収できるように徹底することに加え、退場時にもアンケート回収の担当メンバーに回収することを徹底してもらうようにします。
事項 11	＜リハーサルについて＞ 役割のない方までリハーサルに呼んでしまったため、手持ち無沙汰のメンバーが出てしまった。また、リハーサルの参加者率が低かった。
対応 11	リハーサルの案内は役割のあるメンバーにのみ行います。
事項 12	＜プレスリリースについて＞ 動員に直接的に効果のありそうな手法（メンバーや友人・知人への口コミ等）に力を割いていたため、動員効果が不確実なプレスリリースまで手が回らず実施することができなかった。具体的には、自分たちでメールや F A X でプレスリリースを送信する新聞社やテレビ局などのリスト化がされておらず、そちらを作成する余裕がなかった。また、一括で各メディアに送信できるようやり方も検討したが、企業の商品やサービスを紹介することが前提であり、またリリース先が全国対象と広範囲で地域の講演会の告知としての効果が怪しく、その上有料であるため採用しなかった。（但し、号外ネットへの掲載と J C O M の番組出演といった地元密着のメディアには広報を行った。）
対応 12	地元メディアについては、地域の住民から見ることが高く動員にも効果が一定見込めるためプレスリリースを実施してアプローチします。
事項 13	＜一般参加者への拡大 P R について＞ ただ挨拶をするだけでなく、目的である拡大につなげられるような内容を考えるべきだった。
対応 13	事前に内容を作成するなど、拡大室と連携して進めていきます。
事項 14	＜L D タイム開始時刻の遅延の案内について＞ 入場者が多く開始時刻に開始できなかったため、5 分ほど遅延をして開始した。その際、司会から案内したが、参加者にあまり伝わっていなかった。
対応 14	時間通り実施することと、司会からの案内を徹底します。
事項 15	＜特別会員の例会への出席誘導について＞ 特別会員の中で L D タイムに参加していたが、例会に出席していただけなかった方が一定数いた。
対応 15	広い会場ではないので会場内での案内を徹底する。
事項 16	＜例会後の協賛企業への対応について＞ コロナウイルスの影響もあり、例会後に協賛企業への御礼や事業報告をほとんど行うことができなかった。
対応 16	まずは協力企業には、電話連絡でのお礼を伝え、後日事業報告をお送りします。
【運動面での引継ぎ事項】	
事項 1	＜一般参加者の性質について＞

	「夢や目標に挑戦する子供たちを前向きに支える環境を構築することを目的」としていたが、事前登録時のアンケートでは、「夢や目標に挑戦する子供たちを前向きに支えていきたいと思いませんか」という質問に対し、94%もの人が前向きに支えたいと考えている人が参加しており、この公開例会に参加したことで参加者の心持ちが変わったということまでは詳細に検証できなかった。
対応1	学校教育にまだ取り入れられていないSTEAM教育の必要性を理解する事を目的としているため、事前に知っていたかどうかの質問を加えることで検証していきたいと考えています。
【予算面での引継ぎ事項】	
事項1	＜差異発生の理由について＞ 会場費の変更やチラシの追加発注など、多数の予算の変更があった。 （詳細は事業報告収支決算書の「差異発生理由書（様式12）」に記載」
対応1	予算計画時に入念にチェックをすること徹底します。
事項2	＜協賛のありかたについて＞ 協賛金と座席を連動する形で協賛を行ったことで一定の動員につながったものの、事前確認を行い座席数をコントロールしたが、当日は空席が一定数出てしまい、正面前方の協賛席に空席が目立ち、講師と一般来場者との距離感が発生してしまった。
対応2	今回特別座席は用意しません。